

第 180 回 史跡散策の会

小塩山に淳和天皇陵を訪ねる

- ・開催日：令和 5 年 4 月 28 日（金）
- ・参加者（敬称略）：加納 岩井 松村 高 野口 国沢 6 名
- ・行程：東向日＝バス＝南春日口～大原野神社～勝持寺～車道沿いに小塩山登頂・淳和天皇陵
～車道沿いに下山～南春日口＝バス＝東向日

・天候：晴 25℃ 無風

平安時代建立の藤原氏の菩提寺 昔は奈良の興福寺と京の大原野神社とは並び賑わったとか…
秋の紅葉時期は又格別 先ずは「勝持寺」を目指し、足取りも軽く！



↓「勝持寺」（花の寺） 車道沿いに登るにはこの寺が起点



数多くある天皇陵の内、一番難所にあるのが淳和天皇陵、（ちなみに二番三番は清和天皇陵 嵯峨天皇陵。）
この淳和天皇陵を訪ねないことには 加納さんの気持ちに天皇陵訪問の達成感が生じないとの事で有志が付き添い今回の登頂にチャレンジ！

標高 642m、最短距離で登れば約 1 時間、後期高齢者には無理（リーダーの高さんを除く）なので、一行は車道沿いにて。（京都府道 141 号小塩山大原野線、以前は一般車も通行可能だったそうだが）。

ステッキは必需品。登り途中、背景に京都市内から頂上まで約 12~3 k m、所要時間 4 時間！

念願の 53 代淳和天皇陵（大原野西嶺上陵：おおはらのにしのみねのえのみささぎ）に。父（桓武天皇）が怨霊に悩まされ、兄弟の醜さに嫌気がさして、自信が崩御した折は遺骨を砕いて散骨するように遺言を残した天皇だそうです（高さんの解説）。



加納さん満願おめでとうございます。！！

山頂付近に群生している“カタクリの花”はもう咲き誇る時期を見逃したとの報告あり、筍も。（松村 斥候より）

“♪ 行きはよいよい、帰りは怖い…”とか、「登り体力、降り技術」とはよく言ったもので、麓にたどり着くまで約 2 時間！ もう筆舌に表せない程 ヘトヘト。

鎧を付けたら落ち武者姿！ “籠を所望致す”との声も時折耳にする程 足腰に疲れ…。

（直接最短距離を下った高さんのみ 40 分程で下山）

駅前「やきとり大吉」で一同 まずは無事下山の乾杯！（達成！！）

加納さん、皆さん、本当にご苦労様でした



「天皇陵も全部巡ったし、もう探訪先も見当たらないし、180回の節目を迎えたし、今回で散策の会の納会としよう」との言もあったが・・・。

「いやいや！今回は“仮締め”という事にして、次回は平坦な道を選んでまだまだ先を目指そう」
“仮締めで乾杯！”

本日の歩行は 30,000 歩を超えました。

資料提供・ガイド：高さん

写真提供：岩井さん

レポート：国沢